

令和7年第2回定例会一般質問通告要旨〔概要版〕

● 2月26日(水)：順番1～順番5

順番	1	質問者氏名	阿部 順三
質問事項		質問要旨	
1	経済・金融情勢に対する認識について	<p>長期にわたるデフレからの脱却の中にある、現在の経済・金融状況をどのように捉え、また、国が示した補正予算や115兆円台と言われる国の来年度予算の活用を含め、どのように来年度予算の編成に反映させていくのか伺う。</p>	
2	地場産業の活性化と情報発信について	<p>地域製品の育成、維持、展開を通じ、地場産業の活性化やにぎわいのあるまちづくりが期待できる。また、文化、観光との組み合わせにより交流人口の確保が図れる。</p> <p>さらに、地域おこし協力隊のノウハウの活用も事業展開に有効である。地域経済の付加価値創造と情報発信について、市長の考えを伺う。</p>	
3	デジタル化の進捗状況について	<p>人口減少が進み、担い手・働き手の確保が困難となる中、住民窓口業務や機器・システムの更新に併せたデジタル化を進め、行政サービスの効率化、利便性の向上が求められている。当市の状況と今後の取組について伺う。</p>	

順番	2	質問者氏名	清野 栄一
質問事項		質問要旨	
1	取り返しのつかない出生減について	<p>本市の1月末現在の過去1年間の出生数は139人、1年前の201人と比較して1年間で30%も減少している。仮にこのままいけば、100人割れは来年かも？この状況に対し本市に危機感はあるのか、また、ある場合の新規対策について伺う。</p>	
2	高騰する消費者米価とコメ不足？について	<p>昨年7月頃から、スーパーやネットなどで米の在庫がなくなり始め、お盆過ぎの頃からは、毎日「米が無くなった映像」がメディアで報じられ、それに伴い小売価格もあがり始め、秋以降は異常と思える価格となっている。そこで、消費者米価の高騰による影響と可能な対策、及び米不足？の実態について伺う。</p>	
3	冬季道路交通確保策について	<p>本市においては、機械除雪と消雪パイプにより、市道の交通確保を図っている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 消雪パイプと機械除雪のコスト比較</li> <li>② 過去10年間の消雪パイプ関連費用</li> <li>③ 新発田市などでは市道に新たな消雪パイプの敷設は原則行わな</li> </ol>	

	<p>いこととしているが、本市の取組み方針</p> <p>④ 機械除雪委託契約においては玄関前や駐車場前に除排雪は残置しない仕様として欲しい。</p>
--	---

順番	3	質問者氏名	遠藤 智子
質問事項		質問要旨	
1	妊産婦医療費助成について	<p>妊産婦医療費助成事業については、晩婚化の傾向にある昨今、高齢妊娠や保険診療を必要とする妊婦が本市でも増加傾向にあり、本市でも妊産婦医療費の一部負担金を撤廃し、全額公費負担で妊産婦の出産を支えることは、母体を守ることの支援も子育て環境の中で大切な支援との認識から見解を伺います。</p>	
2	多胎妊産婦等支援について	<p>実施自治体は市町村で、令和5年度は2つの事業がそれぞれ109自治体で実施されています。県内では2市で、多胎妊婦の健康の保持と胎児の健やかな発育を支援するため妊婦健康診査受診票14回分を超えて自費で妊婦健診を受けた場合の費用の一部を助成しており、本市でも妊婦健康診査受診票14回分を超えた場合、受診は無料となっておりますが、今後における多胎妊産婦支援事業についての考え方を伺います。</p>	
3	歴史民俗資料館の今後の方向性について	<p>子供達の学習の場や市内外の方達に、歴史・文化を学ぶ機会が提供されている大切な資料館と認識しておりますが、今後の運営にあたり、次の点について見解を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の経年劣化による補修</li> <li>・展示物、資料の劣化が防げる温湿度管理のできる保存室の急務</li> <li>・温暖化対策のための室内空調整備</li> <li>・集客数の増加対策</li> </ul>	

順番	4	質問者氏名	宮脇 雅夫
質問事項		質問要旨	
1	訪問介護の支援について	<p>介護保険は、「介護の社会化」を目指し、基本的な考え方は在宅介護であり、訪問介護を柱として制度設計されてきました。</p> <p>そこで、以下の点を伺います。</p> <p>①介護保険の訪問介護の位置づけと訪問介護の報酬引き下げの影響についての市長の認識について。</p> <p>②村上市のように、事業所に支援を実施すべきだと思っておりますが、見解を伺います。</p> <p>③訪問介護事業所の「介護職員の処遇改善」の実施状況と今後の対策について伺います。</p>	

2 オンデマンドバスの運行について	<p>昨年10月から、定時定路線の市営バス11路線の内、5路線をオンデマンドバスに切り替え、今年10月からは分田線と五頭温泉郷線を除き全市にオンデマンドバス運行する計画となっていますが、これまでの利用者数の計画と実績、運行上の課題・問題点について伺います。</p>
3 市営住宅について	<p>本市は、一人親などで子供の貧困率が高く、所得の低い単身者や世帯も多く、民間家賃の負担が重くのしかかり困窮している住民が沢山います。</p> <p>対策としては、市営住宅の新規建設を進めること、空家や民間住宅賃貸住宅を借り上げるなどして、市営住宅の供給を抜本的に増やす事が必要だと思いますが、市長の見解を伺います。</p>

順番	5	質問者氏名	清水博英
質問事項	質問要旨		
1 阿賀野市の平和行政推進について	<p>阿賀野市は、平成22年「非核平和都市宣言」を行い、世界の恒久平和への願いを込め、原爆絵画展や庁舎での懸垂幕掲出など、毎年核兵器の廃絶、平和の尊さを市民に伝え、様々な平和記念事業に取り組んでいますことに敬意を表します。</p> <p>そして、より一層平和行政を推進するためにも、国内外の非核平和都市が集い、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるために開催される「平和首長会議総会」への参加について市長にお伺いします。</p>		
2 小中学校体育館の冷房機器の整備について	<p>学校の体育館は、児童生徒の教育活動の場であると同時に、部活動の地域展開移行によるクラブ活動の場や災害時の防災拠点・指定避難所として大変重要な施設です。近年の記録的な猛暑では、体育の授業や部活動にも大きな影響を及ぼしかねません。このような状況を一日も早く解決していく必要があることから、小中学校体育館の空調設備の整備状況や計画についてお伺いします。</p>		
3 市道の交通安全対策について	<p>市道若葉町安野川線は、JRアンダーパスを経由し、水原バイパス（阿賀野バイパス）月崎交差点から新潟方面等への車両通行量が増大しております。当該市道は、ゾーン30の外周道路でもあり、制限速度30km/h規制ですが、速度超過する車両も見受けられます。現在、注意を促す立看板が数か所設置してありますが、車両速度抑制や通学路でもある交差点などの交通安全対策に、より効果的な交通事故防止対策を講じていただけないかお伺いいたします。</p>		

● 2月27日(木)：順番6～順番11

順番	6	質問者氏名	松崎良繼
質問事項		質問要旨	
1	上水道の課題について	<p>新潟市が今年上下水道料金の値上げを行いました。阿賀野市の水道会計について5年度決算審査意見書では、経常収支比率は100%を上回っていますが、給水人口減による収益減少や施設老朽化に伴う整備費増大などで、経営環境は年々厳しさを増すことが予想されると指摘していますが、今後の見通し、市の考え方について伺います。</p>	
2	国保制度について	<p>国民健康保険税の引き上げが提案されていますが、値上げの要因となっている医療費抑制のためにも、加入者負担軽減のためにも国保ドックへの補助増額、子どもの均等割軽減を、一般会計からの繰り入れで実施すべきと考えますが、答弁を求めます。</p>	
3	農業問題について	<p>営農継続への支援とともに、新規就農者の育成が急務だと思います。阿賀野市では市の新規就農支援制度、国の新規就農者育成総合対策を活用した就農支援、地域おこし協力隊制度を活用しての新規就農が取り組まれています。現在の実績、見通しを伺います。</p> <p>支援金だけでは営農と生活を維持することは困難と思います。市独自の上乗せ支援を行うことを求めます。</p> <p>オーガニックビレッジ事業による有機米生産者の数と面積、収穫量、販売先ごとの販売量、金額を伺います。</p> <p>学校給食に全量供給するためには生産者を大きく増やすことが必要ですが、方策を伺います。</p> <p>国の補助は3年間で2026年度までとなっていますが、その後についてどう取り組むかを伺います。</p>	

順番	7	質問者氏名	天野美三男
質問事項		質問要旨	
1	阿賀野市の観光について	<p>日本政府観光局の情報によりますと、2024年の年間訪日外客数は36,869,900人で前年比では47.1%増、2019年比では15.6%増と、過去最高であった2019年の31,882,049人を約500万人上回り、年間過去最高を更新しました。阿賀野市の令和4年主要観光地点別観光客入込数の1番は瓢湖水きん公園の296,700人で、ヤスタヨーグルト242,780人・五頭温泉郷の110,489人・五頭山麓うららの森・サントピアワールド・五頭連峰と続いております。「道の駅あがの」は、令和4年8月のオープンから令和5年12月までに100万人に</p>	

	<p>達成したのは大変良かったと思います。加藤市長はまちづくりと観光事業を共に展開し、来訪者の確保に努めるとともに、「道の駅あがの」のゲートウェイ機能の強化を図りたいと言っておられました。今後の展開を伺います。</p> <p>①観光・歴史・文化・自然等の連携 ②大きなイベントの開催等 ③訪日外客の対応 ④交流人口から定住策</p>
--	--

順番	8	質問者氏名	遠藤 孝
質問事項		質問要旨	
1	阿賀野市観光振興について	<p>市長就任10か月が過ぎ、令和7年度予算には選挙公約実現のための政策、施策が盛り込まれていると思われまます。</p> <p>そこで、観光の振興について伺います。</p> <p>①令和5年度における観光客入込数と1人当たりの消費額と今後の目標値について。</p> <p>②選挙時の「約束」である商工観光の魅力づくりについて、新年度予算への反映について、又その予算に対しての成果目標指標について。</p> <p>③観光振興の取り組みについて、他自治体では観光戦略プランや観光振興基本計画などを策定し、観光振興に取り組んでいます。本市でも過去にはあったようですが、観光戦略の見える化を図るため、策定する考えはありますか。</p> <p>④12月議会一般質問で、観光について市長答弁で「スムーズに目的地に行けるような回遊性を確保するにはどうするか、商工会、観光協会を含め意見交換していく予定」との結果、方法について伺います。</p>	

順番	9	質問者氏名	披田野 勝幸
質問事項		質問要旨	
1	有害鳥獣個体数調整に取り組む猟友会(阿賀野市鳥獣被害対策実施隊)支援について	<p>阿賀野市が誕生した20年前の有害鳥獣と言えば、農作物に被害を与える「タヌキ」や「カラス」と過去に笹神地区で人的被害もありました「ツキノワグマ」が主でした。</p> <p>市から猟友会連絡会へ活動補助を行っておりますが、弾薬や括り罾、箱罾などは、活動補助で賄いきれない分を猟友会分会が負担しております。</p> <p>そこでお伺いいたします。農作物被害防止と市民の安全を第一に頑張っておられる猟友会への活動補助金の増額と実施隊の出動報</p>	

2 児童・生徒のスクールバス利用基準の見直しについて	<p>報酬を上げてはどうかと思いますが、市長の見解をお伺いします。</p> <p>阿賀野市のスクールバス利用は、小学生は学校から3km以上の児童を送迎することになってはいますが、登下校中に交通事故や犯罪に巻き込まれるケースが全国的に起きていますし、笹岡小学校区では「ニホンザル」や「イノシシ」などの危害が心配されています。</p> <p>スクールバス運行も大切な子ども・子育て支援策の一つです。児童・生徒の身の安全面からスクールバス利用基準を見直してはと思いますが、市長の見解をお伺いします。</p>
3 新潟広域都市圏(連携中枢都市圏構想)の進捗状況と今後の取り組みについて	<p>全国的に人口減少と少子高齢化が進行しており、阿賀野市も同様で、今後市民に対して継続的に行政サービスを提供していくためには、市町村間の広域連携によるサービスを効率的に提供していくことが重要です。</p> <p>また、連携中枢都市圏ビジョンを策定した中枢都市及び連携市町村の取り組みに対し、必要な財政支援が講じられますが、この財政支援で決定実行している計画事業はあるのか。関係市町村との話し合いは継続的に行われているのかお伺いいたします。</p>

順番	10	質問者氏名	風間輝榮
質問事項		質問要旨	
1 行財政改革について	<p>求められてる行政需要への対応や市の諸課題を解決しながら、市民サービスの提供を続けていかなければなりません。</p> <p>それには、財源確保をどうするのか、今できることは何かを意識する一方で、常に財政健全化を考えながら、持続可能な行財政基盤を確立することが必要であります。そこで伺います。</p> <p>①これまでの取り組み状況と成果についてどのように評価しているのか。</p> <p>②国県からの補助金事業数と年間予算額、対象外の事業数と年間予算額はどうなっているのか。</p> <p>③徹底した事務事業の見直し、固定費の経費削減など、今、考えられる全てを念頭におきながら、実行する覚悟と考えはあるのか。</p> <p>④職員の意識向上のためにも、「業務改善提案制度」を導入する考えはないのか。</p> <p>⑤浮いた財源を活用して、物価高や燃料高に苦しむ市民生活に寄り添った政策を考えられないのか。</p>		
2 新年度当初予算(案)について	<p>限られた財源の中で、より市民生活に寄り添った政策はあるのか。予算編成にどう反映したのか。</p> <p>今後、考える余地はあるのか。市長に伺います。</p>		

順番	11	質問者氏名	菅原道明
質問事項		質問要旨	
1 人口減少対策について	第3次阿賀野市総合計画2025—2032 基本計画（2025-2028期）（案）において重点分野ということで、人口減少対策を掲げていますが、これまでの取り組みとその成果についてお聞かせください。		
2 教育施策について	人口減少対策において子育て世代への訴求という意味では、子育て環境、教育施策が大きなカギの一つと考えられます。阿賀野市の教育施策において、他の自治体と差別化を図ることが可能かお聞かせください。		

● 2月28日（金）： 順番12～順番14

順番	12	質問者氏名	天野市榮
質問事項		質問要旨	
1 令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポートについて	<p>人口戦略会議は、社人研が公表した「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」に基づき、全国の地方自治体の「持続可能性」について令和6年4月に分析結果を発表した。</p> <p>新たに消滅可能性自治体に該当した本市としては、人口減少対策を振り返る必要があり、対応・取り組みが急務と考えるが、この分析レポートについて市長の所感・所見を伺う。</p>		
2 地方創生交付金事業について	<p>今回の交付金事業について、市長の認識・所見を伺う。</p> <p>(1) 新規認定申請や変更認定申請は提出したのか。また、それぞれどのような内容で申請したのか。</p> <p>(2) 4事業について今後どのように対処するつもりか。</p> <p>ア ICTを活用した「稼げる」まちづくり・ひとづくり事業</p> <p>イ 食・農業イノベーション拠点整備事業</p> <p>ウ ハクチョウの湖「瓢湖」周辺魅力向上計画事業</p> <p>エ 地場産業「安田瓦」を核とした交流人口拡大・就労促進事業</p>		
3 国道49号水原バイパスの全線開通による地域振興策について	<p>水原バイパスの全線開通がもたらす流れの変化に期待を寄せている。次に掲げる事項について市長の認識・所見を伺う。</p> <p>(1) 県営工業団地の現状についてどのように認識しているのか。</p> <p>(2) バイパスインターチェンジ付近で商業施設の建設や計画が進んでいる。公民連携によるまちづくりについての所見を伺う。</p>		

順番	13	質問者氏名	村上清彦
質問事項		質問要旨	
1	災害対策について	<p>政府は昨年12月に、避難所の運営指針を改定。被災者が尊厳ある生活を営める最低基準を示す「スフィア基準」を取り入れたものとなっているが、本市の取り組みを伺う。</p> <p>①備蓄品に関する協定の締結先と定期的な協議は行われているか。</p> <p>②避難所のQOL向上に資するダンボールベッドの提供予定数量など協定団体との具体的な取り決めを行っているか。</p> <p>③避難所となる施設について、ユニバーサルデザイントイレの整備は考えているか。</p> <p>④ペットの同行避難について受入体制はどう考えているか。</p> <p>⑤NTTでは要望により避難所へ災害時用公衆電話の設置を行っているが、本市の対応はどうか。</p>	
2	GIGAスクール端末の更新について	<p>今後端末が更新時期を迎えていく。使用済み端末の再使用又は再資源化について、法律を遵守した適切な対応が求められているが、端末処分とデータ消去に対する具体的な取り組みを伺う。</p>	

順番	14	質問者氏名	荒澤浩和
質問事項		質問要旨	
1	京ヶ瀬中学校グラウンド整備事業について	<p>令和7年3月改定の阿賀野市教育大綱（案）では、「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」を基本理念としています。</p> <p>昨年末に京ヶ瀬中学校グラウンド整備等事業の設計費やスケジュール、グラウンドのデザインの報告があり、今年から工事を着工する予定であることから、沢山のご意見もあると思います。その中で今現在の阿賀野市の対応・状況・今後の進め方について伺います。</p> <p>①グラウンド設計業者の入札結果</p> <p>②グラウンド設計の案</p> <p>③本市としての設計業者への提案</p> <p>④学校教育課と生涯学習課との連携について</p> <p>⑤学校職員やPTA・住民の要望について</p>	
2	農業関係の国・県補助金への市の上乗せ補助について	<p>昨今の農業情勢は、令和6年産は米価が上昇したものの、燃料費や資機材の高騰が続いており、なかなか所得向上には結びつかない状況となっています。そこで、次の2点について伺います。</p> <p>①最近の離農状況と今後の見通しについて</p> <p>②がんばる農家・担い手支援として「上乗せ補助」導入について</p>	